

米国への投資には、多くの利点があります。3億人を超える人口と世界一の経済規模を有する米国は、いかなる企業にとっても最も重要な市場です。米国の労働力は、世界で最も教育レベルが高く、生産性、革新性においても最も高く評価されています。ビジネスを営む場所として、米国は、予測可能で透明な法体制、群を抜くインフラ、そして世界で最も実入りの良い消費市場へのアクセスを提供しています。

- **経済:** 米国は規模と技術的先進度において、世界第一の経済国であり、国民一人当たりの GDP は、約 \$48,000 です<sup>1</sup>。米国内の規制および課税の各制度は、外国投資家に対し運営上の自由を十分に提供するものです。さらに米国は、魅力あるビジネスならびに投資環境に関するほとんどの主要指標において、首尾一貫して首位または首位近くを占めています。米国は、世界で最も一貫して競争力に富み、革新的かつ開かれた経済です。
- **消費者市場:** ダイナミックな市場において、サプライヤーや顧客により近づくため、グローバル企業は米国に投資を行っています。米国は、世界の消費市場の 42 パーセントを占め、一人当たりの可処分所得はおよそ \$35,000 です<sup>2</sup>。加えて、米国は 14 ヶ国との間に自由貿易協定を結んでおり、米国内に投資する外国投資家に、世界中の多様な市場を提供しています。
- **研究開発:** 米国は世界的革新の中心地です。そして世界的レベルで4割ほどの研究と発展支出を手がけています。2000 年以来、米国は科学分野でのノーベル賞において、他の国々の受賞者を合わせた数よりも多くの受賞者を輩出しています。<sup>4</sup>
- **知的財産の保護:** 世界中の人々が、研究開発に投資し、その創意性の結果を商品化するために米国にやってきます。米国は、知的財産権の保護と執行の強力な制度を提供しています。2007 年度に米国特許局が認可した 167,000 件の特許のうち、ほぼ 51% の申請は外国からのものでした。<sup>5</sup>
- **教育:** 「Times Higher Education Supplement」誌によると、世界の大学の上位 10 校のうち 6 校は米国にあります<sup>6</sup>。米国には、4,000 校を越す大学があり、5,800 万人を越える米国民が学士以上の学位を取得しています。<sup>7</sup>
- **生産的な労働力:** 対米投資家は、生産性が高く、順応性に富んだ労働力へのアクセスを得られます。2000 年以来、米国ビジネスの生産性は、約 2.5 パーセントの平均年率で伸びています<sup>8</sup>。1992 年～2009 年の平均では、製造業における米国の労働生産性は G-7 諸国のどの国よりも急速に伸びました。<sup>9</sup>
- **運輸/インフラ:** 世界の上位 10 位の経済のうち、米国は最大規模の道路網、鉄道網、また多数の空港を有しています<sup>10</sup>。航空貨物扱い量上位 10 空港のうち 4 空港は米国にあり、世界で最も忙しい空港も含まれています<sup>11</sup>。また米国には、世界で最も忙しい国際ばら積み貨物およびコンテナ取り扱い港があります。
- **住み良い社会:** 米国は友好的で住み良い国であり、多くの外国人が移り住み投資しています。移民から成る国である米国は、世界でも有数の多彩な文化を誇っています。米国は、すべての外国投資家に、公正かつ公平な待遇を提供することを確約しています。

<sup>1</sup> 出典: BEA; <sup>2</sup> 出典: BEA Data and Credit Suisse survey; <sup>3</sup> 出典: RAND Corporation's National Defense Research Institute; <sup>4</sup> 出典: The Nobel Foundation; <sup>5</sup> 出典: U.S. Patent Office; <sup>6</sup> 出典: The Times Higher Education Supplement 2007 (U.K.); <sup>7</sup> 出典: U.S. Census Bureau; <sup>8</sup> 出典: Bureau of Labor Statistics; <sup>9</sup> 出典: Ibid; <sup>10</sup> 出典: CIA World Fact Book; <sup>11</sup> 出典: Airports Council International.